

2006年度春学期卒業生

9月20日、学部春学期卒業式が行われ、全学で184名が学士の学位記を授与されました。この内、商学部生は41名（男子39名、女子2名）。入学年度別では2000年度入学者が2名、2001年度入学者が13名、2002年度入学者が26名でした。

自動車通学禁止・

バイク通学自粛キャンペーン

秋学期の自動車通学禁止・バイク通学自粛キャンペーンが、11月7日と10日の2日間にわたって実施されます。商学部からも榊原茂樹教授と安田聡子専任講師が参加し、正門前の交差点から隣住宅街など4ポイントで不法駐車の実態調査を行います。ここ2年間は不法駐車ゼロが続いていますが、今回の結果はいかに。

ゼミ（研究演習）の選考

商学部では、少人数教育の柱として“ゼミ（「研究演習Ⅰ」と「研究演習Ⅱ」）”を位置づけています。毎年、秋学期の開始と同時に“ゼミ募集”が始まります。2年生が自分自身で、3年生から所属するゼミを決めるといった仕組みです。商学部では、研究演習Ⅰ履修のための説明会を9月下旬に行いました。各先生の開催する「ゼミ説明会」に出席して、「研究室」へ訪問して、自分の力で自分の将来を開拓していくのです。1年生は来年のこの時期までに、将来のために商学部で何を学びたいかをより明確にしておきましょう。

音楽放送の開始

商学部では今学期より、始業前の20分間（8:40から）と昼休みの40分間（12:50から）、本館内に音楽を流しています。バッハをはじめとするキリスト教音楽を聴きながら、1時間目が始まる前のひととき、そして昼休みの喧騒の中、心を憩わせてもらえればと思います。

12月に入れば、クリスマスの讃美歌に曲目が変わります。関西学院のキリスト教主義を今後は音楽でも感じてもらえることでしょうか。音楽は月曜から金曜まで流しています。

学術講演会の開催

11月に2つの商学部主催学術講演会が開催されます。演題、講師と開催日時等は、次のとおりです。

「ウェブメディアの発展史—Web利用行動データで読むメガメディア化—」

講師：萩原 雅之 ネットレイティングス株式会社 社代表取締役社長

日時：11月7日（火）第2限（11時10分～）

会場：B号館304号教室

「国際取引と企業の安全保障輸出管理」

講師：宗行 伸太郎 キヤノン株式会社貿易法務部長

日時：11月14日（火）第4限（15時10分～）

会場：B号館101教室

なお、株式会社メニコンの田中英成 代表取締役社長を講師に迎え、「瞳の幸せを守るために—コンタクトレンズのパイオニア企業メニコンの顧客主義マーケティング—」と題した10月24日（火）の学術講演会には、約250名の参加者がありました。

D号館302のコンピュータ利用室

商学部本館1階のコンピュータ利用室は、商学部生専用のパソコン20台を設置し、平日は10時から18時20分まで開室していますが、利用者が多く稼働率は常時90%を超える状態が続いています。一方で、学期末や試験前などの混雑期を除けば、割と利用可能なのがD号館302の40台のパソコン。商学部専用ではなく全学対象のオープン利用ですが、ごく一部の時間帯で授業利用されている他は自由に使える穴場の存在になっています。ちょっと足を延ばしてみてもいいでしょうか。

商学部オブジェ紹介



Q. この写真と同じ絵画（オブジェ）が商学部本館のどこかにあります。

さて、どこにあるでしょうか？

（この絵画の紹介については裏面をご覧ください。）



教員の著書出版

福井幸男 教授

編著『新時代のコミュニティ・ビジネス』

(お茶の水書房)

頒価4,000円 2006年7月5日発行

藤沢武史 教授

編著『アメリカ新発見』(晃洋書房)

頒価1,700円 2006年6月10日発行

学院留学

今井 譲 教授

期 間：10月～2007年3月

留学先：シカゴ・デュポール大学

研究テーマ：グローバリゼーション下の金融システムの变化

山本雅代 教授

期 間：10月～12月

留学先：アメリカ・ハワイ大学

研究テーマ：潜在バイリンガル家庭における言語の使用

ランパス留学

伊藤秀和 専任講師

期 間：9月～2008年8月

留学先：アメリカ・コーネル大学

研究テーマ：交通行動の理論と実証

宣教師研究期間

リチャード・スティンソン 助教授

期 間：9月～2007年3月

研究テーマ：カリフォルニア州における昨今の多文化主義の研究

特別研究期間

藤野真子 助教授

期 間：秋学期

研究テーマ：民国期上海における伝統演劇の発展と各種メディアとの相関性について

～絵画について～

商学部のある場所には2枚の大きな絵があります。これは、画家・田中忠雄氏によるものです。田中忠雄氏(1903-95)は高名な画家で、牧師の子として生まれたこともあり、キリスト教的モチーフの絵を多く残しています。商学部にあるのは、十字架を背負うイエスと、姦淫の女(ヨハネ福音書7:53-8:11)の物語の一場面。指で地面に何かを書くイエスです。聖書の物語を読みながら、じっくりと眺めてみてください。

前号のクイズの答え

前回紹介したレリーフは、商学部本館南玄関(大学院1号棟に面している玄関)上にあります。(右の写真を参照してください。)



教員の受賞

伊藤秀和 専任講師

共著『西日本地域におけるモーダルシフト進展の現状と課題—離散選択モデルによる要因分析—』の論文により、「日本港湾経済学会 平成18年度若手研究者論文奨励賞」を受賞した。

博士号取得

田中裕幸 助教授

大阪大学

博士(文学)2006年5月9日付け

論文『Feature Relations in Natural Language Syntax』

<< 教員紹介 >>



林 隆敏 教授

在外研究の機会を得て、トロント大学のビジネス・スクールに1年間滞在していました。トロントはとても暮らしやすい街でした。9月に帰国したばかりですが、今すぐにでも戻りたいと思っています。専門分野は監査論です。監査とは第三者による会計や業務のチェック行為です。監査という取っ付きにくく、難しそうなイメージがあるようですが、私たちの暮らしている社会のあらゆる面で重要な役割を果たしています。できるだけわかりやすい授業を心がけていますので、ぜひ講義を受けてみてください。



山口 隆之 助教授

2年間のフランス海外研究期間を経て、帰国しました。フランスで何より印象深かったのが、非常に多くの場面で「それは、僕の(私の)他の人生だから今の私には関係ないよ」という言葉を聞いたことです。ややもすると無責任な言葉に聞こえますが、現代の我々の社会は、厳しい競争社会へ移行しています。こうした社会の中で、過去の失敗に拘らず、果敢に新しい事にチャレンジしていく上で先の言葉は非常に示唆に富んでいるな、と痛感した次第です。皆さんには、関学生活の中で、失敗を恐れず、果敢に将来にチャレンジしていく精神を養って欲しいと思っています。

